

公務員試験講座合格者報告会

合格の秘訣伝える



多くの3年次生が出席し先輩のアドバイスに耳を傾けた

一般職、国税専門官、地方公務員などに合格した4年次生16人が、3年次生約250人に勉強方法や筆記試験、面接対策など、合格の秘訣をアドバイスした。

4年次生は「特別区合格のポイント」「面接対策」「勉強計画の立て方」などをテーマに体験談を話し、3年次生は熱心にメモを取ったり質問をしたりした。

渋谷区内定した山本凌我さん(経済4)は、面接対策などについて語った。また、1日8時間以上勉強を続けたと話す。3年次生が「どうやってモチベーションを維持したのか」と質問。「仲間と一緒に勉強したり進行状況を報告したりしたことがとても役に立った」と答えた。

氏家詩乃さん(経済4)は昨年の報告会に参加したことで合格への思いを強くし、国税専門官

採用試験を突破。「筆記試験に受からないと前に進めないで、毎日ノルマを課して勉強した。勉強を続けられたのは、落ちた存在が大きい。とにかく最後まで諦めないことが大切」と話した。

同講座を主に生田キャンパスで担当している中村一樹講師は「3年次の

この時期に先輩の体験談を聞くことで、やる気を出す受講生は多い。来年の試験に向け頑張っている」と話した。

ラオス語で簿記テキスト 開発へ研究センター設置

社会知性開発研究センター

語による簿記テキストの開発と簿記検定試験の実施支援。専修大学は本年3月、ラオス国立大学経営学部、ラオス商工会議所、川崎商工会議所、専修大学会計学研究所との間でラオスでの簿記教育の発展・普及にかかわる協力協定を結んだ。本研究センターは、この協力協定に基づき具体的取り組みを行う。

9月には松木健一専務理事とプロジェクトメンバーがラオスを訪問。財務省でソムディ・ドゥア

プロジェクト名は「ラオス国内における簿記教育の発展・普及」ラオス

ラオス国立大学で懇談するプロジェクトメンバー＝9月

プロジェクト名は「ラオス国内における簿記教育の発展・普及」ラオス

プロジェクト名は「ラオス国内における簿記教育の発展・普及」ラオス

寄稿

情報科学センターシステム企画室長 高橋裕

学内ネットワークを再構築

今年の夏期休暇中、人知れず進められていた大プロジェクトがある。それが学内ネットワーク(LAN)の再構築だ。この学内情報システムの刷新は大変重要なものであるが、利用者には分かりづらい。そこで今回、情報科学センターシステム企画室長を務める商学部の高橋裕教授にその意義と背景について寄稿してもらった。

専修大学は大変早くからコンピュータ教育の重要性を認識しており、そのシステムは常に先進性を保ってきた。そんな本学の情報システムは、利用者は抱えていて、それは、全学に張り巡らされたLANであった。

20世紀中は大きな問題は起きなかったが、次第に効率と安全の面で、学内に「多様なLAN」があることのデメリットが見えてきた。そのた

め、新しいサービスが提案されても、実現には結びつかないことが心配されるようになった。そこで今回、生田・神田両キャンパスのLANと、両キャンパス間をつなぐネットワーク回線について完全な再構築を行い、理想形に仕上げた。これが可能になったのは、学術情報ネットワークSINETで仮想大学LANサ

ービスが開始され、これを活用する方策を見つけたことが大きい。その結果、機器類の最適化、障害検知システムの導入と障害対応の迅速化、柔軟な拡張、回線コストの大幅低減、学内すべてのLANの完全一体化が図られた。この改善により、さらに高度な学生教育サービスへ、リソースの振り向けが可能になる。

情報科学センターは今後も単に最新技術にキャッチアップするだけではなく、利用者視点でよりよいサービスを提供していく。

共同執筆論文 学会賞を受賞

文・刈谷教授

文学部・刈谷彦彦教授(地形環境学)が共同執筆した論文が、日本地質学会の学会賞(技術報告賞)を受賞した。論文題目は「赤石山地ドンドコ沢岩石なだれの発生に起因した地形変化の再検討」。筆頭著者は木村誇・愛媛大学助教。南アルプスのドンドコ



ラオス国立大学で懇談するプロジェクトメンバー＝9月

山の科学会 ミニシンポ4氏が講演



サテライト・キャンパスで行われたミニ・シンポジウム

ニ・シンポジウムが10月26日、本学サテライト・キャンパスで行われた。地形や気候といった自然環境、動植物など多角的な視点から山に関する研究が報告された。研究発表では専大、信州大などの学生らがボスターを展示。公開ミニ・シンポジウムは本学文学部の松尾容孝教授と山本充教授、飯田義彦氏(金沢大学)、横山秀司氏(九州産業大学名誉教授)が「山の科学」人と自然を統一テーマに講演した。翌27日には生田緑地で現地討論会が行われ、多摩丘陵の地形・地質や都市公園の利用法について意見を交わした。

年末が近づき少しずつ寒くなってきまし。そんな時にお勧めなのが「逆の発想」で試すことです。例えば、緊張を抜きたい時に人はたいてい肩をぎゅっと上に上げてすんと下ろします。代わりに、肩をぐい呼吸で始まり、深呼吸にならないので、まず息を全部吐き切りま。そうすると、後は身体が勝手に深く吸って深呼吸をしてくれます。

逆の発想のススメ
健康フラッシュ
逆の発想のススメ
逆の発想のススメ

逆の発想のススメ
逆の発想のススメ
逆の発想のススメ